

 $^{9}$  WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN SAITAMA

# 1318E

2022.3-4

No.451

日本野鳥の会 埼玉

SHIRAKOBATO



# オンライン野鳥フォーラムを始めて

IT委員会委員長 佐野和宏

#### ● 何かできることは?

2020 年3月からコロナ禍で探鳥会が中止となり、その後同年に再開できたのはわずかに4回。状況は改善せず、「このままではバードウオッチング離れが進んでしまう」という懸念が大きくなってきました。有志のリーダーで「何かしよう!」ということになり、まずはオンライン探鳥会を計画。これは探鳥地からリアルタイムに鳥の様子を配信するというもので、試しに見沼自然公園で予行演習。ところがこれが予想外に難しく、多くのスタッフと準備が必要なことが判りました。県から外出自粛という要請があったことからも、この案はあえなく断念となりました。

次に思いついたのが、オンラインでの野鳥 講座。講師が野鳥関連のテーマで講義を行い、 それを参加者に視聴してもらうというもの。 オンライン探鳥会よりは現実味がありそうで すが、「そんなに話題があるのか?」というの が最大の問題点。それでも埼玉のホームペー ジにはすでに探鳥会ができない代わりに『私 の羽日記』や『野鳥の鳴き声を楽しもう』な どの新しいコーナーを開設していて、これら を解説してもらえば1時間程度の講座にはな りそうです。また各リーダーにフィールドで は説明しきれないような野鳥の蘊蓄を語って もらうというのもいいかもしれません。話し 合いの中から『このテーマならできそう』と いうものが少しずつ増え、開催の目途が立っ てきました。

大枠が決まり、後は詳細を詰めていく作業です。探鳥会と同様に一般の方でも参加可とし、申し込みは専用フォームからとしました。使用するのはコロナ禍で使用者数が増えたZoomという電話会議システム。パソコンやスマートフォンから指定のアドレスをクリックするだけでインターネットを介してフォーラムが視聴できます。会議用のシステムなので参加者が発言をすることが可能です。開催日



時はより多くの方に視聴してもらおうと日曜日の午後4時からとし、時間は80分と設定。まずは毎週の開催を目標とします。

最後は名前です。折角始めるのであればより多くの方に参加してもらえるように、親しみやすくすっきりとした『埼玉オンライン野鳥フォーラム』と決定。これに合わせて市原さんが一筆書きのシラコバトと組み合わせた素敵なロゴ(上図)を作ってくれました。いよいよ準備完了です。

#### ● フォーラム開始





2021年に入り本格的に準備を始め、なんとか1月中の開催が間に合いました。

トップバッターを務めてもらったのは廣田さん。タイトルは『魅惑の探鳥地-1』で、内容は海鳥の楽園天売島の紹介です。鳥見ポイントからご当地グルメ情報まで、動画や写真で説明していただきました。膨大な数のウトウが帰巣してくる様子を撮影した動画には、チャットで大歓声が上がりました(上写真)!



最も多く講師を努めていただいたのは近藤さん(前ページ、右下写真)。これまでに6回の講義をしていただきました。ホームページ掲載の『私の羽日記(抄)』の内容に加え、羽にまつわる様々な疑問をピックアップし、この謎を綿密な調査の結果から解いていくという流れは、まるで推理小説を読んでいるようで思わず引き込まれていきます。

57名と最も多くの方が参加したのは、直近に行った菱沼さん講師の『野鳥の羽講座(再)』。初回も55名の参加で2021年中の最多記録でした。ここでは"羽と羽根と翅の違い"など、羽の基礎知識を豊富な資料や写真で解説してもらいました。次いで多かったのは長嶋さん講師の『バードウオッチングはカモから始まりカモで終わる-2』で、親しみやすいカモの、しかし奥の深い識別方法を紹介していただきました。



浅見徹さん講師の『バーチャルBW in 三 宅島』では、現地から日本野鳥の会アカコッコ館レンジャー内藤明紀氏にも参加してもらい、2021年も行けなかった三宅島の様子を紹介してもらいました。途中、傷病鳥が運び込まれてきたり、タネコマドリ、ホトトギス、そしてイイジマムシクイのさえずりが聞こえてきたりと、ライブ感いっぱいのフォーラムとなりました(上写真)。

リーダーが講師を務め、参加者がこれを視聴するという講義形式以外に、参加型の「フリートーク会」も開催しました。青木さんが司会を務め、鳥見の失敗談や最近の探鳥地情報、鳥を見始めたきっかけなど、参加者から興味深い話を聞くことができました。

リーダーに加え外部講師にも講義をお願いしました。埼玉県絶滅危惧動物種調査団副代表で(公財)さいたま緑のトラスト協会の理事も務める小峯昇氏には、豊富な海外での鳥見経験からニュージーランドやオーストラリアの見どころ、見られる鳥、自然保護対策などを、数多くの写真と美しい鳴き声の音声を交えて紹介していただきました。

フォーラムではトラブルもありました。講師の回線が突然切れ、画面が消えてしまったり、使おうとしていた資料がどうしても表示できなかったり…、幸いいずれも短時間で復旧できましたが、改めて"生中継"の難しさを感じました。

#### ● まとめ

2021年2月13日までにフォーラム開催は42回に達し、海外からを含めて延べ1,592名に参加していただきました。一般の方の参加申し込みは109名で、この機会に会員になっていただいた方もあります。そして、この活動は『野鳥』誌の2021年9・10月号でも紹介されました。

2021 年 10 月より探鳥会が本格的に再開され、当初の「探鳥会の代わり」という目的はなんとか果たせたのかなと、少しほっとしていたのも束の間、年明けの1月20日からまた探鳥会が中止となってしまいました。一旦、2022 年は月1回を目標としたところ、急遽、月2回で進めていくこととしました。

元々は、「すでに手持ちの資料などを使って、 不足分は口頭で説明してもらえばいいだろう」 程度に思っていましたが、いざ自分が講師と なるとしっかりとした資料をつくらなければ となる様で、各講師には準備に膨大な時間と 労力を費やしていただきました。その結果、 発表内容は年末講演会でお願いできそうな素 晴らしいものが多く、当会の財産になったも のと確信しています。

フォーラムを通して探鳥会のない時期に鳥 に関する情報を伝えられたことは、とても良 かったと思いますが、これにも増して良かっ たのは、講師各位の豊富な知識と情熱に接す ることができたことです。これは代えがたい
ルアドレスなど入力するだけです。まだ参加 貴重な経験となりました。本当にありがとう ございました。

もう少しコロナ禍は続きそうですので、引 き続きご参加の程、よろしくお願いします。 最後になりましたが、フォーラムへの申し 込み(※)は、専用フォームに名前やメー

されたことのない方も、是非、気軽にお申し 込みください。お待ちしています。

# ※➡本会の HP➡画面左側「埼玉野鳥フォーラム」

➡「第○回 埼玉オンライン野鳥フォーラム」の 下段「お申込みはこちらから」をクリック

#### 2021年

回数		<b>講師</b> 廣田純平	<u>タイトル</u> 「魅惑の探鳥地」-1	
-	1月31日	菱沼一充		
2	2月7日		「野鳥の羽講座」-1	
3	2月14日	近藤龍哉	「羽日記・付けたり」-1	
4	2月21日	小林みどり	「野鳥調査」-1	
5	2月28日	廣田純平	「アホウドリに会いに行こう!」	
6	3月7日	菱沼一充	「野鳥の羽講座」-2	
7	3月14日	近藤龍哉	「羽日記・付けたり」-2	
8	3月21日	佐野和宏	「2020年、鳥は?」-1	
9	3月28日	長嶋宏之	「爺々のBirding Life」-1	
10	4月4日	廣田純平	「魅惑の探鳥地」-2	
11	4月11日	菱沼一充	「野鳥の羽講座」-3	
12	4月18日	近藤龍哉	「羽日記・付けたり」-3	
13	4月25日	佐野和宏	「2020年、鳥は?」-2	
14	5月2日	小林みどり	「鳥獣保護員エトロフ小林の事件簿」	
15	5月9日	青木正俊	「〇〇な鳥見を教えてください!」	
16	5月16日	小峯昇様	「ニュージーランドの自然と野鳥」	
17	5月23日	佐野和宏	「2020年、鳥は?」-3	
18	5月30日	近藤龍哉	「羽日記・付けたり」-4	
19	6月6日	浅見徹	「バーチャルBW in 三宅島」	
20	6月20日	青木正俊	第2回フリートークの会	
21	6月27日	長嶋宏之	「爺々のBirding Life」-2	
22	7月4日	小峯昇様	「ニュージーランドの自然と野鳥」-2	
23	7月11日	佐野和宏	「2020年、鳥は?」-4	
24	7月25日	菱沼一充	「野鳥の声」	
25	8月1日	近藤龍哉	「羽日記・付けたり」-5	
26	8月8日	長野誠治	パネルディスカッション	
27	8月22日	森本國夫	「野鳥調査」−2	
28	8月29日	青木正俊	第3回フリートークの会	
29	9月5日	石光章	「トリノトリビア」	
30	9月12日	長嶋宏之	「世界の亜種を調べてみよう」	
31	9月26日	長野誠治	パネルディスカッション	
32	10月3日	菱沼一充	「戸隠高原」	
33	10月10日	浅見徹	「江戸の鳥模様」	
34	10月24日	小林みどり	The HUNTING WORLD in SAITAMA	
35	10月30日	石光章	「トリノトリビア」	
36	11月7日	長嶋宏之	「バードウオッチングはカモから始まりカモで終わる」	
37	11月21日	榎本秀和	「ナベコウはどこで観察?」	
38	11月28日	小峯昇様	「オーストラリアの自然と野鳥」	
39	12月5日	山部直喜	「カラス集団塒の個体数調査」	
40	12月19日	近藤龍哉	「羽日記・付けたり」-6	

#### 2022年

41	1月23日	長嶋宏之	「バードウオッチングはカモから始まりカモで終わる」-2
42	2月13日	菱沼一充	(再)「野鳥の羽講座」−1
43	2月27日	小峯昇様	「オーストラリアの自然と野鳥」

# 野鳥記録委員会の最新情報 日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員

#### ●ハイイロオウチュウ

英名 Ashy Drongo

学名 Dicrurus leucophaeus

分類 スズメ目オウチュウ科オウチュウ属



望月広治さん(未入会の方)より、2021年10月21日~23日の3日間に、さいたま市見沼区内において観察したというハイイロオウチュウの写真(上掲ほか6枚)が寄せられました。望月さんのお話によると「飛んでいる虫を追って空中をひらひらと飛んでいた」とのことです。

写真を検討した結果、①全体的に灰色を呈した体色、②長く、最外尾羽が外側に反っている凹尾、③太く短い黒色の嘴、④黒色の嘴基部、⑤暗赤色の虹彩、⑥眼の周囲の広い白斑、⑦淡灰色の下尾筒、⑧黒色の足、等の所見により、当委員会はこの鳥をハイイロオウチュウと同定しました。その上で、全体の羽衣や翼・尾羽に擦り切れた様子もないことから、いわゆる篭脱けの個体ではないと判断し、当会の県内鳥類リストに349番目の野鳥として本種を追加することにしました。

本種は、我が国では主に南西諸島等で稀な 迷鳥として記録されていますが、このたびの 観察事例も渡り途中の迷行と思われます。埼 玉県内ということだけにとどまらず、東日本 での記録という意味においても稀少な事例と いえるでしょう。

# 12 月に夏鳥コサメビタキ!! 海老原美夫(さいたま市)



コサメビタキ1羽を、昨年12月、2回撮影しました。太く白いアイリング、目先の白、下から見たくちばしは二等辺三角形のような形で、基部から半分くらいは橙黄色でした。

本種は、ロシアバイカル湖付近から極東地域・中国北東部と南部・日本などで繁殖し、 東南アジア・インドなどで越冬します。日本 には九州以北に夏鳥として渡来します。

埼玉県環境部自然保護課が編集、県民部自治文化課が昭和61年4月に発行した『埼玉の鳥とけものたち』によると、県内低地帯では主に春・秋の短期間のみ出現する通過鳥、台地・丘陵帯から山地帯では、夏鳥とされています。図鑑類には、「4月上旬に飛来し、10月半ば頃に飛去する」とあります。

2021 年 12 月 15 日 (水) 12 時 14 分、さいたま市桜区秋ヶ瀬公園子供の森(三次メッシュ53396418、前記『埼玉の鳥とけものたち』による分類では低地帯)で、枝から枝へ活発に移動する本種 1 羽を撮影しました。雨覆いの羽縁が白く明瞭であることなどから、若鳥ではないかと思われます。

その後、同じ林の中で、同一個体と思われるコサメビタキを、12月21日(火)13時15分にも撮影しました。2回とも、私1人だけではなく、一緒に撮影した人たちがいます。

本種を12月に観察、撮影したのは初めてのことです。一般的にも珍しいことと言えるでしょう。数行だけの野鳥情報としてではなく、何らかの形で少し詳しい記録を残しておいた方が良いのではとの鳥友の言葉を受けて、投稿する次第です。

# クマシデとシデ ~その名の由来~ 石川敏男(春日部市)

昨年6月中旬、築地方面に所用で出かけた 折に、あるビルの植込みの木に添付写真のよ うなものがなっていました。

ビールに使うホップによく似ています。形から「シデの木の仲間では」と当たりを付け、ネットで調べてみました。「庭木図鑑 植木ペディア」他などです。

日本にはシデの仲間は5種あるそうで、何れもカバノキ科/クマシデ属でイヌシデChonowski hornbeam、アカシデ Japanese loose-flowered hornbeam、クマシデ Japanese hornbeam、サワシバ Heartleaf hornbeam (注、サワシデの別名あり)、イワシデ(英名不明)です。

記述や写真から、クマシデの木の実(果穂) と判断しました。特に葉脈の数の違いは参考 になります。イヌシデ約12本、クマシデ約 20本です。クマシデの葉はとてもゴワゴワし た感触でした。

また、シデはその果穂の形が注連縄 (シメナワ) や玉串 (タマグシ) などに付けて垂らす紙 (四手、紙垂) に似ていることに由来するそうです。

シデの英語名はhornbeam とあり、その由来 をWikipedia 英文版で調べますと、その材質 の硬いことから horn(つの/角)になぞらえ、 beam は古い英語では tree を意味していまし た。

語源的にはオランダ語の Boom やドイツ語 の Baum と同じとあります。つまり、"horntree" ということになります。

なお、カバノキ科/アサダ属のアサダは Japanese hophornbeam という英名です。



#### へんなカラス

#### 山口芳邦(新座市)

昨年2月、私の鳥見コースである柳瀬川堤 防沿いの桜並木の1本でハシブトガラスが営 巣を始めた。駅に近いため堤防上の遊歩道は 通勤や散策の人たちで結構人通りがある。巣 の位置は遊歩道からそれほど高い場所でなか ったので歩行者への威嚇行為が懸念された。

下を通る時、時々巣を確認したが3月中旬 過ぎに抱卵中と思われる尾先が見えた。その 後は営巣を確認できない日も多く巣を放棄したのではと思っていたところ、6月に入って 巣付近にすでに大きくなった幼鳥1羽を確認した。枝のわずかな隙間から近くの電線に2羽の親が見えたが威嚇行為はなかった。幼鳥の写真を2枚撮らせてもらった。営巣場所近くに住む友人に幼鳥がいるのに威嚇しないへんなカラスだと連絡したところ、育ったのは1羽で彼も木の下でしばらく幼鳥を観察したが威嚇されなかったということだった。

事態の変化はその翌日からだった。幼鳥は 巣立ったと見えて桜並木の下からは姿を確認 できなくなっていたが、何故か2羽の親に威 嚇時特有の鳴き声のガーガーでしつこく騒が れるようになった。わかったのは騒ぐ相手は 私だけ、他の歩行者には全く無関心という事。

私が300mほど上流の桜並木に入り少しすると、どこからともなく現れて騒ぐ。桜並木の下からはよく見えないが並木に沿って外側に電線が走っている。それに沿ってガーガー、しつこく200mくらい付きまとう。私からは騒ぐ声は聞こえるが、並木の外側の姿はよく見えない。雨が降って傘をさしていてもやってくる。行きも帰りも確実に見つかる。通るのが嫌になるほどのストレスだ。

遊歩道をトンネル状に覆っている桜並木や 更に雨の日に傘に隠れた私を上空からどうやって見つけ識別したのだろう。不思議だ。

試しに対岸の堤防を歩いたがやはり飛んできて騒ぐ。必ずしも子供を守る行為ではなかったのがわかる。この行為(いじめ?あそび?)は1カ月ほど続いてやっと終わったが、「へんなカラス」と言われたのが余程アタマにきたと思われるへんなカラスの話です。





小川町 仙元山とその周辺 ◇5月22日、西 光寺の近くのカタクリ自生地側から入り、 自然保護資料館の横を歩く。ムクドリ、ス ズメ、シジュウカラ、コガラ、コゲラ、ガ ビチョウ。キビタキがあちこちで鳴いてい た。見晴らしの丘公園駐車場周辺ではメジ ロ、ツバメ、ホオジロ。エゴノキ、ハクウ ンボクの香りを感じながら山頂へ進む。ハ シブトガラス、ハシボソガラス、キジバト。 エナガ20、幼鳥も確認。青山城跡~下割谷 に行く途中、「ドドドドド」と音が聞こえ てきた。3月下旬に鐘撞堂山へカタクリの 自生地の状況調査に行った時に聞いたもの と同じヤマドリだと思った。石切場に着く と賑やかな声、ヤマガラが多数下に降り、 そのうち2羽がフタリシズカ、ジュウニヒ トエに飛び移っていて、遊んでいるように 見えた。水場の方に下山し、パラグライダ 一事務所周辺ではアオジ、ノスリ、トビ、 ホトトギス、ツツドリ、ジュウイチ、セグ ロセキレイ、カオグロガビチョウのペア、

コサギ、コチドリ5、チュウサギ、ダイサギ、アオサギ、カワウ (村越百合子)。

**さいたま市岩槻区 岩槻文化公園** ◇ 5月22 日、ヨシ原からヒクイナの声(鈴木紀雄)。

**春日部市下増田新田** ◇5月22日、ちょっと 距離のあるヨシ原からヒクイナの声(鈴木 紀雄)。

**蓮田市黒浜** ◇ 5月22日、国立病院機構東埼 玉病院内の林でキビタキ♂ 2 (鈴木紀雄)。

鴻巣市大間一丁目 ◇5月25日午前0時25分頃、ホトトギスの声が夜空から1声降ってきた。今季の初音。同28日午後10時頃、ホトトギス3声通過、近い。同31日午前7時20分頃、ハチクマ1とチョウゲンボウ1が上空を旋回。チョウゲンボウがハチクマにしきりにモビングを仕掛ける。6月1日午前1時20分頃、ホトトギスまた1声(榎本秀和・みち子)。◇8月6日午前8時過ぎ、低空をトビ8羽。旋回しながら空の高みへ。よく見ると、その上空にショウドウツバメの姿。雲の合間から数羽が湧き出て来た。今季初認。猛暑の続く毎日だが、鳥の世界はもう秋だ。翌7日が立秋(榎本秀和)。

川越市 伊佐沼 ◇5月22日、アジサシ夏羽 2、ハジロクロハラアジサシ夏羽3。5月 23日、クロハラアジサシ夏羽1、ハジロク ロハラアジサシ夏羽3 (鈴木 功)。 ◇5 月23日、カルガモ、カイツブリ、キジバト、 カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アオサギ、 ダイサギ、バン、コアジサシ、クロハラア ジサシ、ハジロクロハラアジサシ、カワセ ミ、チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハ シブトガラス、ツバメ、オオヨシキリ、ム クドリ、スズメなど。7月10日、カルガモ、 カイツブリ、キジバト、カワウ、ヨシゴイ、 ゴイサギ、アカガシラサギ、アオサギ、ダ イサギ、コサギ、バン、コチドリ、コアジ サシ、アジサシ、クロハラアジサシ、ハシ ボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ム クドリ、スズメ、ハクセキレイ、オオヨシ キリ(嶋田富夫)。 ◆7月15日、ウミネコ 1。午後5時40分頃から15分ほどの滞在。 南東方向へ飛び去る(神戸宇孝)。

- **草加市柿木町** ◇ 5 月25日、サンコウチョウ ♂若鳥 1 (鈴木 功)。
- さいたま市見沼区膝子 ◇5月25日、色が薄 めのノスリ1、コチドリ3。5月27日、ノ スリがハシブトガラス2に激しく追われて いた。6月29日、雨の中、色が薄めのノス リが電柱に。7月5日、飛去したと思って いたノスリ、まだいた。7月8日、クワイ 田の網にセグロセキレイ若鳥2、支柱には チョウゲンボウ♀1。ヒバリ1が羅網死し ていた。7月14日、ヒバリ10以上が急に上 空を飛び交い、「何事か?」と見たらチョ ウゲンボウ♀1が低空を通過。7月20日、 電柱に例のノスリ1佇む。7月26日、一本 のエノキに100+のムクドリ。その中にコ ムクドリ約10。ムクドリは地上で採餌する もコムクドリは木から降りない。8月6日、 草地にチュウジシギ1、顔の褐色味が強か った。8月10日、オオタカ若鳥が低空飛行 して林内へ。8月13日、水路にカワセミみ 1、草地にチュウジシギ1。8月17日、ク ワイ田横の草地で採餌するササゴイ幼鳥1。 雨に濡れて全身黒っぽく、特に頭部の濃紺 黒色の羽毛が突っ立ってモヒカン刈りのよ うになっていた。やがてクワイ田の中に消 えた(鈴木紀雄)。
- **さいたま市緑区上野田** ◇5月27日、福山通 運の建物付近でツバメたちより上空を飛び 回るヒメアマツバメ1。5月31日、ヒメア マツバメ1、再確認。7月22日、同集配セ ンターの建物に出入りして飛ぶヒメアマツ バメ2、繁殖しているのか? 近くの電線 にムクドリとともにコムクドリ10。7月26 日、電線にコムクドリ10+ (鈴木紀雄)。
- 飯能市 名栗湖(53396143) ◇5月29日、オシドリ、シロエリオオハム、トビ、シジュウカラ、ツバメ、イワツバメ、キビタキ、ホオジロなど(嶋田富夫)。
- さいたま市の鴨川 ◇5月30日、根切橋~植田谷堰付近で土手のクワの木にムクドリ多数。幼鳥が多く、餌をねだる声が絶えない(大塚純子)。
- **さいたま市桜区 大久保農耕地** ◇6月3日 午前9時30分、タマシギ、田植えが済んだ

- 稲の間に可愛い姿を見せていた(中谷智恵子)。
- **羽生市 羽生水郷公園(54392407)** ◇6月3 日、キジ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、トビ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ(嶋田富夫)。
- **さいたま市南区堤外(53395499)** ◇6月3 日、シロエリオオハム、カワウ、アオサギ、 ダイサギ、チョウゲンボウ、ハシボソガラ ス、ハシブトガラス、ツバメ、ムクドリ、 スズメ(嶋田富夫)。
- **さいたま市大宮区三橋4丁目** ◇6月6日、 鴨川沿いの水田でカルガモ親子、幼鳥12(大 塚純子)。
- 蓮田市 西城沼公園とその周辺 ◇6月7日、 エナガの成鳥に幼鳥が混じり、合計20+が 枝移り。コゲラも2羽混じっていた。ムク ドリ50+が屋敷林から屋敷林へ飛んだ。巣 立ち雛が混じっているようだ。6月14日、 ホオジロ♂が梢で囀っていた。ここでホオ ジロの確認は初めて。6月20日、電線にモ ズが1羽とまっていた。繁殖したのだろう か? 他にコジュケイ、キジバト、オナガ、 シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、 オオヨシキリ、スズメ、ハクセキレイ、カ ワラヒワなど。7月3日、44羽のムクドリ がミズキの実を食べていた。7月17日、カ ワラヒワ6、ヒマワリ畑にかかる電線で様 子を窺っていた。7月18日、サシバ1、旋 回して西に流れた。今季ここでの初認。7 月31日午前5時40分、自宅西のイチョウの 天辺にサシバがとまっていて、数羽のオナ ガが執拗に声を発していた。飛び立つとき、 翼がとても長く感じた。今季ここで2羽目。 他にキジバト、ダイサギ、コゲラ、ハシボ ソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、 ツバメ、ヒヨドリ、メジロ、スズメ、ハク セキレイ、ガビチョウなど。8月1日、今 季3羽目のサシバが樹冠に止まって、周囲

を睥睨していた。数羽のカワラヒワが満開のヒマワリ畑を飛びまわっていた。8月17日早朝、近くの屋敷林からコジュケイの鳴き声が響く。8月20日、モズを今季初認した。高鳴きが待ち遠しい。他にアオサギ、ジシギ類、コゲラ、オナガ、シジュウカラ、ツバメ、メジロ、ムクドリ、ハクセキレイなど(長嶋宏之)。

- 上尾市平方 三ツ又沼ビオトープ ◇6月8日、 ハシブトガラス、ハシボソガラス、スズメ、 メジロ、ムクドリ、ヒヨドリ、キジ、シジュウカラ、ツバメ、チョウゲンボウ、トビ、 オナガ、エナガ、クロジ、アオサギ、ダイ サギ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モ ズ、ホオジロ、ウグイス、アオジ、ヒバリ、 トラツグミ、カルガモ、コジュケイ、ガビ チョウ。上空にカワウ。キビタキがあちこ ちで鳴き、オオヨシキリは去年より数少な く、ホトトギスは増えていた(村越百合子)。
- さいたま市桜区 彩湖  $\diamondsuit$ 6月9日、シロエリオオハム成鳥2、若鳥1。彩湖の岸辺、目の前2m位の近さの所で盛んに潜ったりと大サービスのときもあった(海老原教子)。
- **春日部市武里中野** ◇6月9日午後9時30分~9時45分頃にかけて、自宅東方の水田からヒクイナの鳴く声を3回ほど聞いた。翌6月10日早朝にも聞こえてきた。6時9分、12分、51分。今度はより近いところからだった。すぐに水田を見て回ったが、苗が伸びていて見つけられず(石川敏男)。
- **久喜市菖蒲町下栢間** ◇6月14日午前6時15 分、元荒川の土手横休耕地でキジ♀成鳥1 雛4。親子は今季初確認(小貫正徳・とみ 子)。
- **熊谷市津田** ◆6月14日午前8時40分頃、 田圃の上空をケリが鳴きながら飛んでいた (大畑祐二)。
- **比企郡吉見町 吉見総合運動公園** ◇6月18 日、オオタカが円を描きながら上空に上がっていった。ここで6月のオオタカは珍しい。チョウゲンボウがこちらに向かって飛んできた。正面からのチョウゲンボウは迫力満点。モズが繁殖したらしく、幼鳥の数が多かった。他にキジ、カルガモ、キジバ

ト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、ガビチョウなど(長嶋宏 マ)。

- **越谷市上赤岩** ◇6月19日夜、松伏総合公園 西側の水田の方から聞こえてくるヒクイナ らしき声を聞く。10月号の「しらこばと」 に、6月9日に春日部市南東部でヒクイナ の声を聞いた、という情報があったので、 ヒクイナの可能性が高まったと思い、報告 する(尾上愛実)。
- **さいたま市桜区神田** ◇6月20日、住宅の間 の水田でゴイサギ成鳥1 (大塚純子)。
- 上尾市地頭方~上尾市平方領領家 ◇6月20日、河川敷工事は現在休工中なので、今年は影響なく無事に育っているだろうかと様子を見に行くと、カルガモ親鳥2幼鳥10、少し離れた場所に親鳥2幼鳥5確認。電柱ではツバメ28が餌のおねだりをし、シジュウカラ5がザクロの木に団子状態になって鳴いていた。全体的に灰色のハクセキレイ3(村越百合子)。
- **さいたま市桜区白鍬** ◇6月23日、民家の1 階車庫でツバメが営巣。フェンスに巣立ち 雛2、巣の中に2~3羽。7月5日、白鍬 電建の調整池でコチドリ3、ハクセキレイ 5、ツバメ5+。餌場争いか、時々3種が 入り乱れ、鳴きながら飛び回る(大塚純子)。
- **久喜市菖蒲町柴山枝郷** ◇6月24日午前6時、 圏央道横の田植えが終わったばかりの水田 でアマサギ2、今季初認。昨年は近くの場 所で7月9日に観察。今日は他にダイサギ 7、コサギ3(小貫正徳・とみ子)。
- さいたま市西区宝来(53397404) ◇ 6月24 日、国道16号の高架でチョウゲンボウの雛 6、成鳥1。あと少しで、完全に巣立ちの 予定。他にキジバト、ハシボソガラス、ハ シブトガラス、ツバメ、ムクドリ、スズメ、 ハクセキレイ(嶋田富夫)。
- 上尾市 丸山公園 ◇6月27日、カイツブリ 親鳥2幼鳥1確認。ここでは繁殖2回目。 もう1ペアを見かけたが巣作りの真っ最中。

去年の2羽だろうか? 7月21日、前回巣作りしていたカイツブリのペアの様子を見に行く。探してみると、「フィフィ」少し高めの声。「フィフィフィフィフィフィ」と必死の声で親鳥を探す幼鳥。もう1羽は親からモツゴを貰っていた。 先月見かけた幼鳥は親と変わらない位、色がついていた(村越百合子)。

- **越谷市 越谷レイクタウン** ◇6月19日、ア ジサシ2。7月10日、コアジサシ成鳥7、 幼鳥1。7月31日、コムクドリ幼鳥1(鈴 木 功)。
- **さいたま市見沼区卸町2丁目** ◇7月12日、 遊水池で雛4を連れて泳ぐカルガモ1 (鈴 木紀雄)。
- **蓮田市笹山** ◇7月12日、田植えが遅く、苗 の小さい水田でセイタカシギ♂1、♀1、 若鳥1。7月19日、畔にコチドリ8、水田 にセイタカシギ成鳥1。ダイサギ、チュウ サギ、アマサギ、コサギ若鳥の全体で50+ の群れ。7月27日、水田にサギ類20+。多 くはチュウサギ。その中にダイサギ2、コ サギ成鳥2、若鳥4。電線にゴイサギ成鳥 1。水田の稲の中からタマシギの声がする も姿確認できず。7月29日、コチドリ4。 稲の間にタカブシギ成鳥1。ゴイサギ成鳥 1、若鳥2飛翔。タマシギの声。8月2日、 ジシギ類2飛び回る。でっぷりと大きく、 淡色に見え、次列風切後縁の白線目立たな い。おそらくオオジシギ。8月9日、畔で 採餌、休息するジシギ類1、総合的に見て、 小さめのオオジシギと判断した。他にジシ ギ類不明種2が飛翔。8月18日、水田の中 で茶色と白色の羽がばたついている。オオ タカ若鳥がチュウサギを獲ったところ。獲 物を持っては飛べず、水田の中をズルズル 引きずっていた (鈴木紀雄)。
- 伊奈町小室 ◇7月12日、人の入らないよう なブッシュ帯から複数のウグイスの声。繁 殖していると思われる(鈴木紀雄)。
- **熊谷市(旧大里町)屈戸** ◇7月16日午前8時 40分頃、田んぼに小柄な白サギの群れがい た。よく見るとアマサギだった。夏羽のき れいな個体は2、3羽だった (大畑祐二)。

- **伊奈町大針** ◇ 7月19日、水の入った休耕田 でコチドリ20+ (鈴木紀雄)。
- **吉川市美南中央公園** ◇7月31日、クサシギ 成鳥1 (鈴木 功)。
- **桶川市舎人新田の調整池** ◇8月4日午前6 時10分、アジサシ2、今季初。春には見ら れずもう南へ帰るか? ゴイサギ20、久し ぶりの数。成鳥、幼鳥が半々(小貫正徳・ とみ子)。
- **さいたま市岩槻区横根** ◇8月5日、水の入った休耕田でコチドリ4(鈴木紀雄)。
- **さいたま市岩槻区高曽根** ◇8月5日、草地 のすみをコソコソ遠ざかるオオジシギ2(鈴 木紀雄)。
- 行田市須加 ◇8月7日、休耕田でムナグロ 4、オオジシギ4、アオアシシギ1、クサ シギ1、イソシギ1、トウネン成鳥1、ツ バメチドリ2。8月13日、イカルチドリ3、 オオジシギ1、タカブシギ10、イソシギ1、 オジロトウネン成鳥3、ウズラシギ成鳥3。 (鈴木 功)。
- **春日部市倉常** ◇8月7日、休耕田でムナグロ9、クサシギ4、イソシギ1(鈴木 功)。 ◇8月8日、休耕田でコチドリ3(内若鳥1)。一面に水草の茂った水の入った休耕田にクサシギの小群(鈴木紀雄)。
- **川越市鴨田** ◇8月14日、休耕田でアカエリヒレアシシギ幼鳥1(写真有)(鈴木 功)。



#### 表紙の写真

#### セッカ科セッカ属セッカ

昨年4月、野鳥を楽しむ習慣を持っていて 良かったと思いながら、シャッターを押した。

チャリバーダー49 (さいたま市)



# 5~6月の日帰り探鳥会と、6~7月の宿泊探鳥会などのご案内です。探鳥会は全て事前予約制です。

#### 【事前予約制探鳥会の開催要項】

- 1.日本野鳥の会会員限定の先着順(ただし、 埼玉会員優先)とする。
- 2. **申し込みは、当会のホームページから**とする(特記の探鳥会以外は原則として開催日の4週間前から、ホームページで受け付けを開始します)。

#### 予約なしでの参加はご遠慮ください。

- 3. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥 会運営マニュアル」(最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」 から閲覧できます)に沿って実施する。
- 4. **必須条件**:マスクなどの飛沫防止策 (ご 用意のない方は参加をご遠慮ください)。
- 5. 筆記用具や観察用具(双眼鏡等)は、各 自で用意する。
- 6. 万一、探鳥会開催後に参加者から新型コロナウイルス感染者が出た場合には、参加者名簿を保健所に提出する。
- 7. 新型コロナウイルスの感染拡大が続いている場合は、探鳥会を中止する事があります。最新情報をホームページで確認してから参加してください。

# 東京都·三宅島探鳥会(要予約)

期日:**5月6日(金)~8日(日)** 

※詳細は1-2月号をご覧ください。

# 長野県・中軽井沢レディース探鳥会

期日:5月14日(土) 要予約

集合:午前8時、しなの鉄道 中軽井沢駅北口。 交通:北陸新幹線大宮発6:53(はくたか551 号金沢行)→高崎7:18→軽井沢着7:34。し なの鉄道に乗り換え7:43 発→中軽井沢着 7:48 ※時刻が変更になる可能性有。

解散:午後2時ころ、現地 軽井沢野鳥の森。

募集人数:15名

担当:吉原(早)、中川、菱沼(洋)、藤澤、藤田

- 見どころ: キビタキ、オオルリ、コムクドリ、 コルリ、サンショウクイ、クロツグミなど 夏鳥を探して約6kmを歩きます。
- 探鳥コース:中軽井沢駅→長倉神社(トイレ) →別荘地→ハルニレテラス(トイレ)→ト ンボの湯の前(昼食)→ピッキオビジター センター→軽井沢野鳥の森(どんぐり池) その他:昼食持参。雨天中止。

注意:**女性限定**。軽井沢野鳥の森は足元が滑り易いのでハイカットの登山靴をお薦め します。

# さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日:5月15日(日) 要予約

集合:午前9時、さいたま市立浦和博物館。

解散:正午前に集合地で。

交通: JR 北浦和駅東口バスターミナルから東 武バス「さいたま市立病院行」8:21 発で終 点下車。※ダイヤ改正で時刻が変更になる 場合があります。バス会社のHPなどでご 確認の上お越しください。

募集人数:20名

後援:さいたま市立浦和博物館

担当:青木、浅見(健)、浅見(徹)、小林(み)、 須崎、畠山

- 見どころ:新緑の5月。山で営巣する小鳥達が三室で一休みしているかもしれません。 思いがけない鳥たちを一緒に探してみませんか?
- ※筆記用具を忘れずにご持参ください。

# 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日: 5月21日(土) 要予約

集合:午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

解散:正午ころ、現地で。

交通:東武伊勢崎線 春日部 8:12→久喜 8:27 →花崎 8:34。または JR 宇都宮線 大宮 7:53 →久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。

募集人数:15名(+公園側募集5名)

共催:加須はなさき公園管理事務所

担当:長嶋、相原(修)、相原(友)、青山、石川(敏)、千葉、藤田、茂木

見どころ:子育て中のジュウカラやコゲラ、 縄張りを主張するオオヨシキリなど、公園 内の身近な野鳥を楽しみます。空にはオオ タカが舞うかも。

#### 長野県・戸隠高原探鳥会(要予約)

期日:5月21日(土)~22日(日)

※詳細は1-2月号をご覧ください。

# 狭山市・入間川定例探鳥会

期日: 5月22日(日) 要予約

集合:午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。

解散:正午ころ、稲荷山公園で。

交通:西武新宿線 本川越8:43 発、または所

沢 8:41 発に乗車。

募集人数:20名

担当:長谷部、佐藤(久)、星、山口、山本(真)

見どころ: 今年生まれた鳥たちがデビューするころ。運が良ければシジュウカラやコチ

ドリの幼鳥に会えるかも。

# 羽生市·羽生水郷公園探鳥会

期日:6月2日(木)平日 要予約

集合:午前9時、羽生水郷公園水族館前休憩

舎。

解散:正午前に集合地で。

交通:羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート (ムジナもん号) を利用、東武伊勢崎線羽生駅東口8:04発→南羽生駅8:21発→「キヤッセ羽生・水郷公園」下車、県道を渡り公園へ。

たり五品。

募集人数:20名

担当:相原(修)、相原(友)、新井、長嶋、茂

木

共催:羽生水郷公園管理事務所

見どころ:静かな公園での平日探鳥会。池で はアオサギやゴイサギの幼鳥が佇み、芝生 ではヒバリの囀りを楽しみます。カッコウ やコチドリは見つかるかな。

注意:帰りのバスは14:50発です。

#### 新潟県 魚沼市·奥只見銀山平探鳥会 (要予約)

期日:6月4日(土)~5日(日)

集合:4日午前6時30分 大宮駅西口または 午前7時 川越駅西口の2ヵ所。

解散:5日午後7時30分 川越駅西口および 午後8時15分 大宮駅西口の2ヵ所の予定。 ただし、高速道路の渋滞等の交通事情によ り変更することがあります。

交通:集合地から貸切バス (25 人乗り小型) を使用。

費用:40,000円の予定(貸切バス代、宿泊代、 2日目の昼食代、保険代等を含む)。※過 不足の場合は当日清算。

定員:20名。最少催行人数18名。

申し込み: 当会HPで4月1日から受付開始。

担当:入山、近藤、佐野、長谷部

見どころ:銀山平は猛禽類の宝庫で、イヌワシを探しに行きます。オオルリやノジコ等の小鳥達や、綺麗な草花が私達を歓迎してくれるでしょう。奥只見湖の遊覧船に乗る予定です。

その他:宿泊先は銀山平温泉『湖山荘』です。 男女別の相部屋で個室の用意はできませ ん。2日目が雨天の場合、松之山に行く予 定です。参加者には後日詳しい案内を発送 します。

# 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日:6月5日(日) 要予約

集合:午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

解散:正午前に集合地で。

交通: JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学 メディカルセンター行き」バス 8:38 発で 「自然観察公園前」下車。

募集人数:20 名

担当:吉原(俊)、相原(修)、秋葉、浅見(徹)、大畑、近藤、千葉、吉原(早)

見どころ:前回(2019年)6月の定例探鳥会では、ヨシの先に止まって囀るオオヨシキリを観察し、ホトトギスやキビタキの声も楽しみました。葉が茂って見つけにくいですが声を頼りに探しましょう。

# さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日:6月19日(日) 要予約

集合:午前9時、さいたま市立浦和博物館。

解散:正午前に集合地で。

交通:JR 北浦和駅東口バスターミナルから東 武バス「さいたま市立病院行」8:21 発で終 点下車。

募集人数:20名

後援:さいたま市立浦和博物館

担当:浅見(徹)、青木、浅見(健)、小林(み)、 須崎、畠山

見どころ:6月の三室定例は、2019年以来です。この時季ここでの名物は、ホオジロとヒバリの囀りだったかな。少し稲の伸び始めた水田でコチドリも見掛けたな。芝川と農耕地で身近な野鳥を探します。キジ、カワセミ、オオタカにも期待。



「何か用? 三室のキジですけど」(撮影 浅見 徹)

# 長野県・軽井沢発地~池の平湿原探鳥 会(要予約)

期日:7月23日(土)~24日(日)

集合:23 日午前7時 大宮駅西口ソニックシ ティ前。

解散:24日午後5時ころ大宮駅周辺(交通状況によって変わります)。

交通:集合地から貸切バス(28人乗り中型)。 費用:31,000円の予定(貸切バス代、宿泊費、 2日目の昼食、保険料など)。※参加人数

によって変動します。 宿泊:休暇村嬬恋鹿沢

https://www.gkamura.or.jp/kazawa

定員:22名。最小催行人数 16名。※コース に高低差がありますので足腰に自信のな い方はご遠慮ください。

申し込み:当会HPで6月1日から受付開始。 担当:菱沼(一)、浅見(徹)、近藤、菱沼(洋) 見どころ:下界の暑さを忘れて、高原の鳥た ちに会いに行く旅です、発地では比較的観 察しやすい草原の鳥のホオアカ、ノビタキ、 コヨシキリ、池の平湿原ではホシガラス、 ルリビタキ、ビンズイなどが観察できます。 また、高山植物の女王コマクサをはじめ、 40種程度の高山植物を楽しみます。

その他:宿泊は男女別2名1室(夫婦は同室)。

# 長野県 松本市・乗鞍~上高地探鳥会 (要予約)

期日:7月30日(土)~31日(日)

集合:30日午前6時30分 大宮駅西口または 午前7時 川越駅西口の2ヵ所。

解散:31 日午後9時 川越駅西口および午後9時45分 大宮駅西口の2ヵ所の予定。ただし、高速道路の渋滞等の交通事情により変更することがあります。

交通:集合地から貸切バス (27 人乗り中型) を使用。

費用: 42,000 円の予定(貸切バス代、宿泊代、 2日目の昼食代、保険代等を含む)。※過 不足の場合は当日清算。

定員:22名。最少催行人数18名。

申し込み: 当会HPで6月1日から受付開始。 担当:入山、近藤、長谷部

見どころ:猛暑の埼玉から『涼』を求めて長野県松本市の乗鞍と上高地を訪れます。過去3回の探鳥会では、乗鞍でライチョウの親子連れ・上高地でコマドリを見る事が出来ました。鳥以外でも、コマクサ等の高山植物の花々や穂高連峰の景色を楽しむ事が出来ます。

その他:宿泊先は(旧)五千尺ロッジです。 一部屋2名で、御夫婦・親子での同室は可。 それ以外は男女別の相部屋で個室の用意 はできません。参加者には後日詳しい案内 を発送します。



今月号の特集記事(p2~4)をご覧になりましたか。当会ではオンライン会議システム Zoom を使った野鳥フォーラムを開催しています。スマホやパソコンを使ってリモートで参加できます。参加費は無料です。当会のホームページから申し込みをしてください。現在は、月に1~2回の割合で開催を計画しています。今後の開催予定など、詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.wbsj-saitama.org/onlineforum/



# 「第2回おひとりさまバードウォッチング」 の開催について 普及部

リアルの探鳥会の開催が依然として難しいなか、会員の皆様がそれぞれ同じ時期に県内の好きな場所でバードウォッチングをしましょう。今回は昨年6月の開催に続いて第2回目となります。4月下旬から5月半ばまでの気候の良い時期にしましたので参加しやすいと思います。1人でも多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。観察内容や感想をぜひお寄せください。

#### く実施要領>

- ・実施期間は4月23日(土)~5月15日(日)、実施日は各人が決めた実施期間内の1日(時間設定は任意)とします。観察は毎日行ったとしても参加報告は特定の1日に限ります。
- ・場所は埼玉県内に限りますが、移動しながら複数箇所での観察は可です。
- ・複数名での参加も可能ですが、参加資格は日本野鳥の会会員に限ります(同伴の家族は非会員でも可)。
- ・事前申込みは不要です。
- ・観察(確認)種数の多さを競うことは目的ではありません。

#### く観察結果報告>

- ・観察記入フォーム(エクセルファイル)は3月下旬に実施要領とともに当会HPに掲載し ます。
- ・参加者は実施後に普及部のメールアドレスに入力済みの記入フォームを送信してください。 締め切りは6月末とします。
- ・記入フォームには確認種名 (声のみの確認も含む)、観察場所及び感想・エピソードを記載してください。

#### <注意事項>

・参加時にはコロナ感染対策を徹底し、交通事故等へ十分注意してください。このイベント は探鳥会保険の対象にはなりません。



# 11月20日 (土) さいたま市 見沼自然公園 参加:30(会員30)名 天気:晴

オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ バン オオバン ツミ オオタカ カワセミ コゲラ モズ ミヤ マガラス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤ マガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エ ナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ ホオジロ カシラダカ アオジ (37種+ハイタカ 属不明種)(番外:ドバト) 2019年以来の探鳥会 を開催できただけでも良かった。予約制というこ とで限られた人数、2班での行動となったが、参 加者の皆さんの顔が見られる会となり気持ちよく 歩くことができ、観察種も37種と予想以上であっ た。地元で見られる鳥たちとの再会が何よりのプ レゼントであったと思われる。 (大井智弘)

# 11月21日 (日) さいたま市 三室地区 参加:23(会員23)名 天気:晴

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ バン オオバン オオタカ カワセミ モズ ハシボソガラス ハシブトガラスシジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロアオジ (26種) (番外:ドバト) 久々の定例探鳥会。鳥たちは元気よく我々を出迎えてくれた。枝にいるオオタカや芝川の翡翠を参加者全員で堪能。これだけで探鳥会は大成功! ただ、芝川の中州が無くなった影響か、カモ類がほとんどいなかったのが残念だった。 (青木正俊)

## 11月23日(火、祝) 志木市 柳瀬川 参加: 25(会員25)名 天気: 晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ カイツ ブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン イカルチドリ イソシギ ト ビ ハイタカ オオタカ ノスリ カワセミ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワアオジ (34種) (番外:ドバト) 強い風の中、猛禽が次々と姿を現す。水鳥は少ない。水谷田んぼ、志木市役所や公園付近も工事の最中で鳥の姿が殆ど見られない。それでも所々で小鳥が現れ、セキレイは4種が揃う。風を避けた水面にアメリカコガモが出現、カワラヒワの水浴びも観察、定番のイカルチドリも20羽を数えた。 (鈴木秀治)

#### 11月27日 (土) 加須市 渡良瀬遊水地 参加:28(会員28)名 天気:晴

ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシ ビロガモ オナガガモ コガモ キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン セグロカモメ クロハラア ジサシ ミサゴ トビ チュウヒ ハシボソガラ ス ハシブトガラス ヒヨドリ ウグイス ムク ドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセ キレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ (35種) 渡良瀬名物の強風を避けてカモを中心 に谷中湖の水鳥を観察。そこへひらひらと飛んで 来たのはクロハラアジサシ。この後何度となく姿 を見せてくれた。谷中ブロックではチュウヒがよ く飛んでくれた。小鳥は少なかったものの久しぶ りの冬季の探鳥会は35種を観察。 (佐野和宏)

## 11月28日(日) 狭山市 入間川 参加: 27(会員27)名 天気: 快晴

コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン イカルチドリ イソシギ トビ ハイタカ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒョドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ イソヒョドリ スズメ キセキレイハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ホオジロ アオジ (36種) (番外:ドバト) 今年は冬鳥の到着が遅いようだが、36種も記録。コロナ対策で多少窮屈な探鳥会だが、鳥仲間と歩いて鳥を見るのは本当に楽しい。 (長谷部謙二)



#### ●令和4年度も『しらこばと』隔月発行

公益財団法人日本野鳥の会(本部)発行の『野鳥』誌 2022 年1-2月号において、『野鳥』誌は、令和4年度も隔月発行になると発表されました。多くを『野鳥』誌と同封発送をしている当会会誌『しらこばと』もそれに合わせ、隔月発行を続けざるを得ない状況となりました。

今後も毎月刊発行の場合より、更に注意 深さが必要な隔月刊の編集、発行作業を続 けてまいります。

なお、本部から『野鳥』と『しらこばと』 を同封発送するAと、埼玉事務局から『し らこばと』のみを発送するB、それぞれの 発送予定日は次の通りです。

	A	В
5-6月号	5月20日	5月20日
7-8月号	7月1日	7月1日
9-10月号	9月20日	9月16日
11-12月号	11月18日	11月18日
1-2月号	1月20日	1月20日
3-4月号	3月20日	3月17日

#### ●会員数は

3月1日現在1,469人です。

# 活動報告

2022年1月16日(日)16時~18時オンライン(Zoom)普及部会を開催。①今後の

探鳥会開催の可否について、②5月以降 の探鳥会計画について、など。

- 1月 22 日(土) 16:00~18:15、オンラインテスト役員会を開催。参加者:18 名。 各部の報告、など。
- 2月2日(水)-4日(金)、メール交換による役員会を開催。第1号議案「小荷田行男、小林みどり、橋口長和の3名を、令和4年度鳥獣保護管理員候補者として推薦する」を、承認した。
- 2月21日(月)-23日(水)、メール交換による役員会を開催。第1号議案 「令和4年5~6月の探鳥会計画について」、第2号議案「第2回おひとりさまバードウォッチングの開催について」、第3号議案:「伊佐沼をねぐらとするサギ類への影響を考慮し、8月下旬の伊佐沼の花火大会を中止するよう川越市の担当部署に要望書を提出する」を、それぞれ承認した。

# 編集後記

幸田 文の作品に『動物のぞき』がある。内容や写真(土門拳)よりも、実は題名にひかれた。"バードウォッチング"という言葉と重なったからだ。そして「これからは"野鳥のぞき"と言ったほうが正しい表現だな」とコロナ禍の中、小さな椅子に座って一人で野鳥を見ていて得心した。(山部)

しらこばと 2022 年3-4月合併号(第 451 号)定価 200 円 (会員の購読料は会費に含まれます) 発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目 26 番8号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 郵便振替 00190-3-121130 URL http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org 編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断 転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社